

## 企画展「岡山の歴史家群像 著作と生涯」 を開催します

岡山市立図書館の所蔵資料によって、岡山の歴史を記してきた近世以降の歴史家たちの著作や生涯を紹介し、その人柄に触れます。

### 1 日時

令和6年10月11日(金)～11月17日(日)

※毎週月曜日休館(ただし10月14日(祝日)と11月4日(振替休日)は開館)

開館時間 10時～18時(木曜日は11時～19時)

### 2 場所

岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール前 展示コーナー(北区二日市町) 入場無料

### 3 内容

- ・私たちが過去の出来事を知ることができるのは、その出来事を深く観察し、記録した人たちがいたからです。したがって、私たちが心の中に思い描く過去の時代の像は、その時代のことを書き残した歴史家たちの考え方や、実体験や、物事を見る視角を通して知っていることになります。
- ・岡山市立図書館には、戦国時代の宇喜多氏の興亡以来の岡山のさまざまな歴史を記した史書について、貴重な手写本が数多く所蔵されています。また、歴史家として知られる人々が閑暇に制作した書画などもあって、その人柄がしのべれます。
- ・そこでこのたびは、近世から近代までの岡山の歴史を紡いだ歴史家たちに焦点をあて、彼らの生涯や著作を、当館所蔵の約30点の関連資料で紹介します。

### 4 関連講座

令和6年10月13日(日) 14～16時 「岡山の近世の歴史家たち」

令和6年11月10日(日) 14～16時 「岡山の近代の歴史家たち」

いずれも会場は、岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール 先着60名(申込不要)

聴講無料 講師:飯島章仁(当館学芸副専門監)

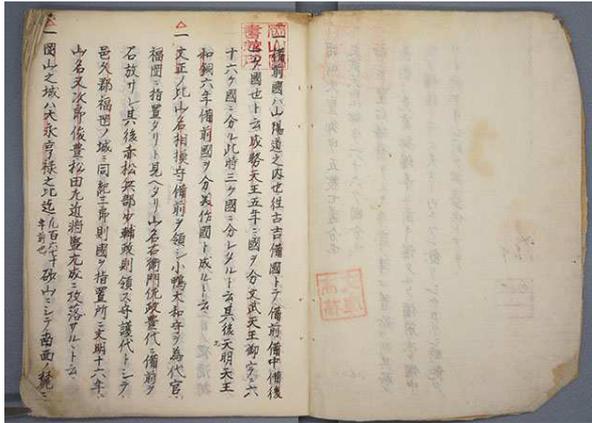
#### 【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・沖田 直通086-223-3373

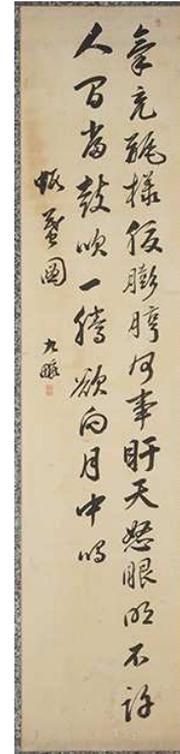
## おもな展示品

### 1 近世の歴史家たち

宇喜多氏の興亡を描いた『備前軍記』の著者、<sup>とひつねひら</sup>土肥経平や、江戸時代のベストセラー本『常山紀談』の著者、<sup>ゆあさじょうざん</sup>湯浅常山や、岡山藩主・池田家の歴史を描いた『池田家履歴略記』の著者、<sup>さいとうかずおき</sup>斎藤一興などの歴史家に加えて、岡山藩領の最初の地誌『備前記』の著者、<sup>いしまる</sup>石丸定良や、続く『備陽国志』の編纂者、<sup>わだまさただ</sup>和田正尹らを紹介しします。



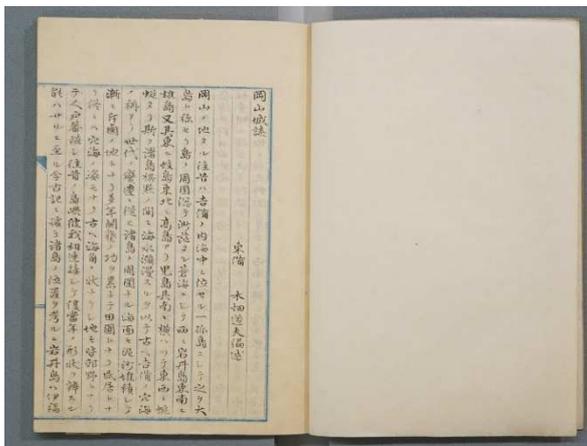
石丸定良著『備前記』の写本



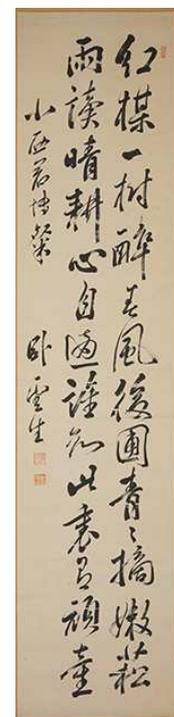
『池田家履歴略記』の著者、斎藤一興の書

### 2 近代の歴史家たち

明治期に岡山城と後楽園の歴史をまとめ、岡山藩の藩政文書（現在の岡山大学附属図書館所蔵「池田家文庫」）の整理と編纂にあたった<sup>きぼたみちお</sup>木畑道夫や、彼に学び大正期に『岡山市史』の最初の編集委員長を務めた<sup>やまださだよし</sup>山田貞芳など、岡山に近代的な歴史編纂方法を導入し、文書や史蹟の保存にも貢献した人々を紹介しします。



岡山城に関する近代最初の史書とされる  
木畑道夫著『岡山城誌』の草稿



教育家としても知られる山田貞芳の書